

国土交通省受託調査研究プロジェクト

『環黄海地域における国土政策分析調査』

有識者会議と OECD 調査団ヒアリング

財団法人国際東アジア研究センター（ICSEAD）では、外部研究資金獲得のため、国土交通省国土計画局の『環黄海地域における国土政策分析調査』（平成 20 年度）を実施している。これは、2008 年 5 月の公募に対し、企画提案書を提出、その後、審査を受けて受託したものである。

東アジア各国の急速な経済成長や産業構造の高度化の進展によって、日本を取り巻く経済環境は厳しくなっている。こうした状況の中、成長力の高い東アジア地域との連携を強化し、その成長エネルギーを国内に引き込むことで、日本の経済発展に繋げていく必要がある。北九州市を中心とした環黄海地域 10 都市による「東アジア経済交流推進機構（OEAED: The Organization for the East Asia Economic Development）」は、世界のどの地域よりも先行して、国境を越えた都市間連携を展開してきた歴史と実績を持っている。

本調査では、環黄海地域において、北部九州が中国や韓国の都市と連携することで、日本の新しい拠点として発展する可能性を分析し、新しい国土形成計画策定のための基礎資料となる報告書を作成する。また、本事業の一環として、都合 2 回の有識者による検討会議「『環黄海地域における国土政策分析調査』有識者会議」と都合 2 日に及ぶ「経済協力開発機構（OECD: Organization for Economic Co-operation and Development）調査団による環黄海地域へのヒアリング」を実施した。今回の会議報告では、これらの概要を報告する。

国土交通省受託調査研究プロジェクト 実施体制

【ICSEAD メンバー】

- 山下 彰一（国際東アジア研究センター所長）
- 戴 二彪（国際東アジア研究センター主任研究員）
- 瀧井 貞行（国際東アジア研究センター主任研究員）
- 亀山 嘉大（国際東アジア研究センター上級研究員）
- 園山 加奈（国際東アジア研究センター事務局）
- 松井佐知子（国際東アジア研究センター事務局）

【外部協力者】

- 井原 健雄（北九州市立大学大学院社会システム研究科教授）
- 松本 秀暢（神戸大学大学院海事科学研究科准教授）
- 石黒 一彦（神戸大学大学院海事科学研究科専任講師）



< 会期 >

- ・ 第 1 回 有識者会議：2008 年 10 月 6 日（月）
- ・ OECD 調査団ヒアリング：2008 年 10 月 30（木）～31 日（金）
- ・ 第 2 回 有識者会議：2008 年 11 月 28 日（金）

【OEAED10 都市のキャラクター 1】

10月6日(月)

## 『環黄海地域における国土政策分析調査』

### 第1回 有識者会議

14:00~17:00 ICSEAD 6F 会議室

#### 会議の目的

2008年7月に新たな国土形成計画(全国計画)が閣議決定された。その中で、東アジアとの都市間連携が謳われている。北部九州地域では、1990年代初頭から、環黄海地域において日中韓の国境を越えた都市間連携に取り組んできた。本会議では、この先行事例を調査対象とし、都市間連携の実態を報告するとともに、その課題を検討し、調査の方向性と最終報告書の提言内容を議論する。そのために、環黄海地域における経済発展や環境問題、輸送インフラの整備等の関連領域に精通した有識者による会議を開催し、研究者や地元の行政・財界・市民の立場から、都市間連携の展望について広く意見を拝聴し、報告書の作成に役立てる。

司会 山下 彰一(ICSEAD 所長)

議長 谷村 秀彦(北九州市立大学大学院社会システム研究科  
教授/アジア文化社会研究センター長)

委員 朴 倬玄(法政大学経済学部教授)

太田 一敏(北九州市港湾空港局空港企画担当理事)

坂梨 正雄(九州経済連合会常務理事)

湯浅 玲子(フリーライター)

国土交通省

島谷 享(国土交通省国土計画局総務課課長補佐)

事務局

戴 二彪(ICSEAD 主任研究員)

瀧井 貞行(ICSEAD 主任研究員)

亀山 嘉大(ICSEAD 上級研究員)

園山 加奈(ICSEAD 事務局)

#### 議題

- ・東アジア経済交流推進機構(OEAED)をはじめとする都市間連携の背景、経緯
- ・都市間連携とは何か
  - 環黄海地域における都市間連携の成功事例
  - 環黄海地域における都市間連携の課題
  - 都市間連携の推進方法・推進体制
- ・提案事項

#### 議事

環黄海地域の国境を超えた都市間連携の形成に関して、その歴史的経緯が議論された。そのコンセプトは、地方都市同士の協力によって、各国の首都に対抗できる地域を形成し、経済発展と環境保全のバランスを追及するというものであったが、今日、地球環境問題、広域汚染問題、海洋ごみ問題といったように、事態は深刻化していることが議論された。

この事態を克服し、環黄海地域として持続的な成長を遂げていくためには、都市間連携を追及していく必要があり、その意義と課題が議論された。過去の連携の実績として、「北九州市と大連市の環境技術協力」、「北九州エコタウン事業の海外展開」、「福岡市と釜山広域市の広域経済圏構想」があげられるとともに、連携の課題克服の方策として、「シームレス・アジア構想の促進」、「産業クラスターと海事クラスターの連携」、「環黄海地域の文化的交流」、「教育プログラムの検討」があげられ、それぞれ提案がなされた。

10月30日(木)

#### 『OECD 調査団ヒアリング in 北九州』

9:15~9:40 北九州市役所(市長表敬)

10:00~14:30 ICSEAD 6F 会議室(ヒアリング)

15:00~17:00 北九州エコタウン視察

## 会議の目的・概要

OECD 調査団は、都市間連携の先行事例として、OEAED を高く評価しており、環黄海地域 10 都市がどのような目的で事業を進めてきたかが議論された。ここに至るまでの都市間連携の実績 課題、今後の方向性が議論された。ものづくり、環境、ロジスティクス、観光に関して、それぞれ実務担当者から意見が出された。

OECD 調査団：アダム・オーストリー団長（OECD 地域開発政策委員会都市地域政策作業部会長）他 6 名  
協力：北九州市（企画文化局，環境局，産業経済局，港湾空港局），北九州産業学術推進機構（FAIS），北九州国際技術協力協会（KITA） 他計 38 名



北九州市長表敬訪問の様子



「OECD 調査団ヒアリング in 北九州」の様子 1



「OECD 調査団ヒアリング in 北九州」の様子 2

10月31日（金）

## 「OECD 調査団ヒアリング in 福岡」

9：00～18：00 福岡市役所 9階顧問室

10：00～11：30 国連ハピタット福岡本部

## 会議の目的・概要

福岡市は、国際的な輸送戦略や観光戦略に限らず、東アジア地域との連携を地域戦略として積極的に取り入れており、釜山広域市との「広域経済圏構想」にも取り組んでいる。これらの事業の経緯、実績、今後の展望に関して、ヒアリングが行われ、協力団体それぞれの実務担当者の立場から、意見が出され議論がなされた。

OECD 調査団：アダム・オーストリー団長（OECD 地域開発政策委員会都市地域政策作業部会長）他 6 名  
協力：国土交通省九州地方整備局，福岡県（商工部，企画・地域振興部，環境部），福岡市（総務企画局，経済振興局，環境局），九州経済調査協会，国連ハピタット 他計 31 名

OECD 調査団ヒアリングでは、北九州市や福岡市をはじめとする関係機関の皆様にご協力いただいた。記して感謝申し上げる次第である。

11月28日(金)

松井 佐知子 (ICSEAD 事務局)

## 『環黄海地域における国土政策分析調査』

### 第2回 有識者会議

10:30~14:30 ICSEAD 6F 会議室

#### 会議の目的

第1回 有識者会議では、OEAD を事例に都市間連携の背景・経緯を議論し、そのコンセプトを確認した。共通議題として、都市間連携によって、企業、産業さらには地域のポテンシャルが上がっているのか、上がっているなら、その推進要因は何であるのか。上がっていないのなら、その阻害要因は何であるのかが、広く議論された。

第2回 有識者会議では、前回の会議結果、並びに OECD ヒアリングと独自の企業調査等の結果に基づき具体的な政策提言を行う。そこで、環黄海地域における経済発展や環境問題、輸送インフラの整備等の関連領域に精通した有識者による会議を開催し、ICSEAD が提案する都市間連携の具体化の方策の適否について広く意見を拝聴し、報告書の作成に役立てる。

司会 山下 彰一 (ICSEAD 所長)

議長 谷村 秀彦 (北九州市立大学大学院社会システム研究科教授 / アジア文化社会研究センター長)

委員 文 世一 (京都大学大学院経済学研究科教授)

岩田 和晶 (北九州市企画文化局国際政策課課長)

坂梨 正雄 (九州経済連合会常務理事)

湯浅 玲子 (フリーライター)

国土交通省

島谷 享 (国土交通省国土計画局総務課課長補佐)

事務局

戴 二彪 (ICSEAD 主任研究員)

瀧井 貞行 (ICSEAD 主任研究員)

亀山 嘉大 (ICSEAD 上級研究員)

園山 加奈 (ICSEAD 事務局)

#### 議題

- ・環黄海地域における国境を越えた都市連携がもたらす国土政策にかかる課題と展望の検討
  - シームレス・アジア構想
  - 人的交流の拡大による将来のビジネス展開 (環黄海地域の文化的交流 + 教育プログラムの検討)
  - 産業クラスターと海事クラスターの連携

#### 議事

新しい国土形成計画における「シームレス・アジア構想」実現に向けて、国境を越えた都市間連携がどのような課題を克服していく必要があるのか、地方都市の主体性を引き出すための方策が議論された。

具体的な提案として、青少年交流の長期的な仕組み作りのために、各都市の国際交流協会の連携の推進、環黄海地域の学術研究拠点の設立、海事クラスターと産業クラスターの連携、といったことが提示された。インフラ整備にあたっては、費用・便益分析が必要不可欠であるが、九州では海事関係の学術研究が充分ではなく、今後の検討課題である



青島市



下関市



烟台市



天津市



蔚山広域市